

## はしがき

本報告書は、当研究所が令和2～4年度外交・安全保障調査研究事業（発展型総合事業）「大国間競争の時代の日本の安全保障」のサブ・プロジェクトの1つとして実施している研究会プロジェクト「『大国間競争の時代』の朝鮮半島と秩序の行方」の1年目の研究成果を取りまとめたものです。

米中の対立と戦略的競争は、軍事・安全保障から先端技術、サプライチェーンの支配、新型コロナ対応をめぐるナラティブに至るまで、あらゆる分野で一層激化し、ルールに基づく国際秩序は一層激しい試練に直面しています。

そのような中、本研究会では韓国・北朝鮮の内政・経済・外交・安全保障（軍事）の各分野に対するカレントな情勢分析を通じて、日本の外交・安全保障を考える上でもっとも大きな要素のひとつとなる朝鮮半島の現状を把握し、さらに政策的示唆を引き出すことを目的に据えて種々の活動を行っています。

なお、ここに表明されている見解はすべて個人のものであり、当研究所の意見を代表するものではありません。

最後に、今般のコロナ禍の中、ご多忙にもかかわらずご参加いただいたプロジェクト／研究会メンバーの方々、そしてその実施のためにご尽力くださったすべてのみなさまに心より感謝申し上げます。

令和3年3月

公益財団法人 日本国際問題研究所  
理事長 佐々江 賢一郎

## 研究体制

主査：	小此木政夫	慶應義塾大学名誉教授
副査：	倉田 秀也	防衛大学校グローバルセキュリティセンター長、教授／ 日本国際問題研究所客員研究員
委員：	安倍 誠	日本貿易振興機構アジア経済研究所新領域研究センター長
	伊豆見 元	東京国際大学国際戦略研究所教授
	奥藪 秀樹	静岡県立大学大学院国際関係学研究所教授
	阪田 恭代	神田外語大学国際コミュニケーション学科教授
	西野 純也	慶應義塾大学法学部政治学科教授
	箱田 哲也	朝日新聞論説委員
	平井 久志	慶南大学校極東問題研究所招聘研究委員／ 共同通信客員論説委員
	平岩 俊司	南山大学総合政策学部教授
	三村 光弘	環日本海経済研究所調査研究部主任研究員
	渡邊 武	防衛省防衛研究所主任研究官
委員兼幹事：	市川とみ子	日本国際問題研究所所長
	永瀬 賢介	日本国際問題研究所研究調整部長
	飯村 友紀	日本国際問題研究所研究員
担当助手：	関 礼子	日本国際問題研究所研究助手

(敬称略、五十音順)

# 目 次

各章の要旨	……1
問題提起—「大国間競争時代」の朝鮮半島	小此木 政夫……5
第1章 北朝鮮の「戦争抑止戦略」と「戦争遂行戦略」の現段階 ——核使用の宣言的措置と弾道ミサイル系列生産——	倉田 秀也…… 11
第2章 「3重苦」に、人民大衆第1主義掲げ「自力更生」 —北朝鮮の2020年内政—	平井 久志…… 27
第3章 「新たな伝統的関係」へと回帰する中朝関係	平岩 俊司…… 77
第4章 2020年の北朝鮮経済の様相と今後の展開	三村 光弘…… 87
第5章 文在寅政権4年目の政治と外交	西野 純也……109
第6章 新型コロナウイルス感染拡大と対外環境の悪化に 揺れる韓国経済	安倍 誠………119
第7章 文在寅政権の移行期正義による韓国国防の政治化	渡邊 武………131
第8章 日韓を隔つ相次ぐ「歴史」の試練	箱田 哲也……145
第9章 バイデン政権の登場と日米韓協力 —「インド太平洋」時代の課題	阪田 恭代……155
第10章 党第8次大会と経済政策の方向性 —「内的動力」と「C1化学」政策に見る北朝鮮経済 の諸相	飯村 友紀……169